

巨細胞性動脈炎で国立循環器病研究センターに過去に入院・通院された
患者様のご家族の方へ研究協力のお願ひ

2020年7月27日

当センターでは以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんから採取された組織や、診療情報から得られた研究データをまとめるものです。この案内をお読みになり、この研究の対象者のご家族様の方でご質問がある場合や、この研究に「ご家族の組織や情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データからの情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】1992年1月1日～2019年3月31日の期間に当センターで高安動脈炎ないし巨細胞性動脈炎の診断で、手術や解剖を受けられた方

【研究課題名】巨細胞性動脈炎の大型血管病変

【研究責任者】国立循環器病研究センター 血管生理学部 部長 中岡良和

【研究の目的】高安動脈炎と巨細胞性動脈炎との異同について検討するため、巨細胞性動脈炎の大型血管炎の病理組織学的特徴を明らかにすることを目的としております。

【利用する診療情報】(試料)手術または解剖により採取された血管の組織検体

(情報)解剖記録、病理所見、背景、性別、年齢、身長、体重、身体所見、血液検査所見

【研究期間】研究許可日より2023年3月31日まで(予定)

【共同研究機関】北海道大学大学院保健科学研究院病態解析学(石津明洋)、東北医科薬科大学医学部皮膚科学(川上民裕)、東邦大学医療センター大橋病院病理診断科(高橋啓)、岐阜大学医学部附属病院病理診断科(宮崎龍彦)、山口大学大学院医学系研究科病理形態学(池田栄二)、NPO法人北海道腎病理センター(小川弥生)、九州大学大学院医学研究院病理病態学(鬼丸満穂)、愛媛大学大学院医学系研究科解析病理学(倉田美恵)、聖マリアンナ医科大学大学院疾患バイオマーカー標的分子制御学(黒川真奈絵)、北海道大学大学院医学研究院免疫代謝内科学(中沢大悟)、京都大学医学部附属病院病理診断科(武曾恵理)、島根大学医学部附属病院(村川洋子)、国立循環器病研究センター(中岡良和)、東京都健康長寿医療センター(新井富生)、鳥取大学医学部附属病院(桑本聡史)、筑波大学附属病院(坂下麻衣)、大阪市立総合医療センター(福島裕子)、岡山大学医学部(藤澤真義)、東京慈恵会医科大学附属柏病院(鈴木正章)、佐賀大学医学部(相島慎一)、日本海総合病院(西田晶子)、聖マリアンナ医科大学病院(千葉清)、愛知医科大学(綿貫博隆)、一般財団法人 住友病院(宇高不可思)、山口大学医学部附属病院(桂春作)、独立行政法人国立病院機構 函館病院循環器科(米澤一也)

【個人情報の取り扱い】お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、匿名化した上で使用いたします。この研究で得られた情報を将来二次利用する、あるいは研究計画書を変更する場合があります。その場合は、研究倫理審査委員会での審議を経て、研究総括管理責任者の許可を受けて実

施されます。その際は文書を国立循環器病研究センター公式サイト
(<http://www.ncvc.go.jp>)の「実施中の臨床研究」のページに掲載いたします。

【問合せ先】 国立循環器病研究センター 血管生理学部 部長 中岡良和
電話 06-6170-1070(代表)